

様式第3号

委員申込書（応募用）

1 応募者

海区名 (応募する海区)	1 東部海区
	2 西部海区

委員の 区分	1 漁業者又は漁業従事者
	2 学識経験者
	3 中立

フリガナ	カイク タロウ		職業
氏名	海区 太郎		漁業（ホタテ養殖業）
住所	〒 038-8570 青森市長島一丁目1番1号 (TEL 012-111-0000)		
生年月日 (年齢)	昭和30年 1月 1日 (69) 歳	性別	<input checked="" type="radio"/> 男 女
経歴	期間	事項（学歴・職業・職名・役職名等）	
	昭和45年4月～昭和48年3月	〇〇高校	
	昭和48年4月～昭和52年3月	〇〇大学	
	昭和52年4月～昭和55年7月	〇〇工業株式会社勤務	
	昭和55年8月～	〇〇漁業協同組合 正組合員	
	平成5年4月～平成7年3月	〇〇漁業協同組合 定置部会長	
	平成11年4月～	〇〇漁業協同組合 理事	
	平成24年4月～	青森県西部海区漁業調整委員会 委員	
漁業経営（漁業従事） の状況	・ 漁業種類	ホタテ養殖業、刺し網漁業、釣り	
	・ 年間従事日数	120日	
漁業者又は漁業従事者で あるか否かの別	<input checked="" type="radio"/> 該当する	・ 該当しない	

応募の理由 (200字程度)	(例)
	養殖技術の改良に長年取り組み、現在では、高品質のホタテガイを安定して生産できるようになった。
	漁業の経験、知識も豊富になったので、海区漁業者のために貢献したいと考えている。
	特に〇〇海区の漁業は、〇〇に課題があるので〇〇のようにしたい。
	以上から、西部海区漁業調整委員に応募する。

(あて先) 青森県知事

- 1 (1 東部海区 (2 西部海区) 漁業調整委員に応募します。
- 2 募集要項に掲げる資格を満たしており、本申込書に記入した内容に相違ありません。
- 3 青森県が申込書に記入された内容に係る確認を行うため、必要に応じて関係機関に照会することに同意します。
- 4 漁業法第139条第2項及び農林水産省令第47号(漁業法施行規則の全部を改正する省令)第45条第1項第1号及び第2号の規定に基づき、この推薦に関する情報を公開することを同意します。

令和 6年11月8日

氏名(自署) 海区 太郎